

「小樽港港湾計画（原案）」に対して提出された
意見等の概要及び市の考え方等について

パブリックコメント募集期間 令和3年8月16日（月）から令和3年9月14日（火）

- | | | |
|---|--------------------|----|
| 1 | 意見等の提出者数 | 1人 |
| 2 | 意見等の件数 | 3件 |
| 3 | 上記のうち、計画等の案を修正した件数 | 0件 |
| 4 | 意見等の概要及び市の考え方等 | |

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	<p>全体的に、小樽港と道内各地の間で、モノやヒトがどこから、あるいはどこへ、どのようなルートと手段で流れると考えて、計画が設計されているのか、よくわからなかった。今まで注目されてこなかった道産木材が人気を集めるなど、流通の変化を予感させる事象が増えているように感じる。ありとあらゆる可能性の発生に対応できる広く汎用的な設計の視点も欲しいと感じました。</p>	<p>計画に位置付けている港湾の能力（取扱貨物量、船舶乗降旅客数等）や施設の規模及び配置については、過去の実績や現在の状況も踏まえつつ、将来、実現の可能性のあるものを推計し計画したものです。</p>
2	<p>港湾の能力をどのような根拠で見積もっているのか、疑問に思う。過去の実績をもとに予想しているように見えたが、新型肺炎ウィルスの流行で、社会が大きく変化している状況で、過去実績から定めるのは危険ではないかと思う。</p>	<p>港湾の能力については、過去の実績や企業ヒアリング、社会情勢の予測などから、目標年次を令和10年代後半として推計しており、長期的な視点としては、新型コロナウイルス感染症による影響は軽微なものと考えております。</p>
3	<p>港湾施設の規模及び配置にある計画数値が、各計画目的の達成に対し、どのような効果を期待して算出しているのか、よく分からない。ただ適当に、なんとなくこんな感じの定性的な見積もりで書かれているのではないかという不安を感じた。</p>	<p>港湾施設の規模及び配置の各数値については、港湾の能力に基づき、利用が想定される船舶の諸元や、港内の安全性を確保するための波浪解析などに基づき定めたものです。</p>